



教育目標 英知の風かおり 友愛の情ふかく 精励の志つねに

中野中学校だより

令和7年3月18日(水) 発行 第11号

令和6年度 第13回卒業式 式辞

「中野中桜」をはじめとする本校の木々にも、やわらかな日差しが降り注ぎ、新しい春の息吹が感じられる佳き日となりました。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。心から、お祝いいいたします。

皆さんは、三年間本当によく頑張りました。各教科等の学習や学校行事、部活動など、一人ひとりが個性を生かして、思いきり力を発揮し、中野中学校のよき伝統を更に発展させてくれました。大きな成果が、本当にうれしく、卒業生一人ひとりが、私の誇りです。

皆さんと出会ってから、「FOR 2050(2050年に向けて)」をスローガンとして、様々な問い(テーマ)で意見を交流し、考えを深めながら、たくさんの取組を重ねました。中野中学校での学びを自信とし、明日から力強く、一人ひとりが、幸せな人生を展開してほしいと願っています。そのために、中野中学校3年間で身に付けた「さわやかなあいさつ」に加え、「自分の体は何のためにあるのか」を、卒業生一人ひとりへ、「はなむけの意見交流テーマ」にします。

自然災害や感染症など、想定外が日常となる昨今、「自分の体は何のためにあるのか」を問われたら、どのように答えますか？ もちろん、正解はありません。人によって考えは様々でしょう。私の考えを述べます。

「口」は、自分や人を励ます言葉や、感謝の言葉を言うためにある。

「目」は、自分や人の良いところを見るためにある。

「耳」は、自分や人の言葉を最後まで聴くためにある。

「手足」は、自分や人を助けるためにある。

そして「心」は、自分を前向き(ポジティブ)にし、人の痛みを理解するためにある。

皆さん一人ひとりが自分の考えをもち、これからもみんなで考え続けることが大切です。卒業後も、意見交流後、更によりよい考えをもって、母校、中野中学校へ来てくれることを心待ちにしています。

そして、この問いにおける、各自の答えを実現するための「笑顔力」を、「はなむけの言葉」にいたします。

笑顔ですれば大抵のことができる
笑顔ですれば何でもおもしろい
笑顔でしていると誰かが助けてくれる



さて、卒業生の保護者の皆様、本日はお子さまのご卒業、誠におめでとうございます。教職員を代表し、心からお祝い申し上げます。地域の皆様と、共に教職員が一丸となって、保護者

の皆様と協力しながら、お子さまの教育に全力を尽くしてまいりました。時には不行き届きの面もあり、ご不満を感じられたこともあったかと存じますが、常に本校の教育に対して、温かいご理解とご支援をいただきましたことに、教職員共々、心から感謝いたします。

結びに、卒業式にあたり、多数の来賓の方々にご列席いただきましたこと、そして、全ての関係の皆様、心から御礼申し上げます。中野区立中野中学校の卒業生は、13年間で、1,843人となります。改めて、本校にお寄せいただきました数々のご支援とご協力に感謝するとともに、これからも、一層のご支援・ご協力をお願いいたします。

卒業生一人ひとりの、限りない前途を祝福し、式辞とさせていただきます。

令和七年三月十九日

中野区立中野中学校長 竹之内 勝

3年生の行事

4月からの進路先決定に向けて、がんばってきた3年生。2・3月は、中学校生活最後の月として、様々な活動が行われました。

- 2月21日(金)ふれあい交流会
～小学校1年生との交流活動～
- 3月6日(木) 観劇教室「アナと雪の女王」
～四季劇場にて～
- 3月7日(金) 主権者教育講演会
「笑える！政治教育ショー」
～お笑い芸人 ジグザグジギー
どんぐりたけし と一緒に～
- 3月10日(月) スポーツデー
～ドッジボール、綱引き、
ダンシング玉入れなど～
- 3月12日(水) 命の授業 ～赤ちゃん抱っこ体験～
- 3月13日(木) 卒業遠足～東京ディズニーランド～
- 3月14日(金) クリーンデー



1 年生 留学生との交流会 & 働く人の話を聞く会

留学生との交流会

英語の授業の一環として、早稲田大学の留学生との交流会が行われました。英語の授業の中で、班ごとにお互いの自己紹介や質問などをして、英語でのコミュニケーションに挑みました。また、給食の時間もともに過ごし、生徒たちにとっても、留学生にとってもいい体験ができました。

<生徒の感想から>

1 国や文化の異なる人との交流で、大切なことは何だと思いますか

- ・笑顔！
- ・ジェスチャーや、つたない英語でもなんとか会話をしようとする姿勢が大切。
- ・お互いの文化を理解すること。お互いの文化に興味を持つこと。
- ・相手の文化に触れて、思いやりをもち、相手と関わり、相手が接しやすい態度でいること。

2 この留学生との交流で、分かったことや学んだこと、感じたことは何ですか

- ・外国人の言語を完璧に理解するのは難しかったけれど、ジェスチャーや、言いたいことを伝えようとする気持ちがあれば案外伝わるのかなと思った。
- ・表現の仕方を変えることで、伝えることができることを学びました。
- ・これまで関わったことのない国の方とお話をして、その国のことを知ることができました。
- ・これまで学んだ英語の文法や用法を利用でき、現存の能力を確認できました。
- ・英語は他国間を繋ぐ手段であることがあらためてわかった。

3 留学生へ一言(お礼など)

・Thanks for coming our school and talking with us. It was very fun. I was happy. Also , I learned English. I want to talk you again. Thank you very much !



働く人の話を聞く会

1年生は進路学習として、「働く人の話を聞く会」が行われました。12人のゲストティーチャーのうち、各班2名ずつのお話を伺いました。そして、そのお話をもとに、それぞれの班で、まとめを発表しました。



2年生 社会貢献活動調査

社会貢献活動調査

2年生は、各班ごとに、都内の様々な団体に出向いて話を聞く社会貢献活動調査を行いました。

<生徒の感想から>

- ・自分たちができることとして、ゴミを拾うなど、積極的に身の回りの環境をきれいにしていく。
- ・様々な活動が地域にあった産業が発展したり、環境を守るという意識がひろまったりしているし、緑化を進めることで破壊された自然を少しずつ取り戻すことができている。
- ・ボランティアは個人の社会貢献活動であると知ることができたので、まずは自分のできることを探して、頑張っていきたい。
- ・遺児たちの交流により「自分は孤独ではない」という共感が生まれ、明るい気持ちになることができるとわかった。そういう子どもたちに自分の募金等をして助けになるようにする。
- ・人のために動くことは人のためとなり、その規模が大きくなると社会貢献活動になると思った。人のために動くということは相手にとっても気持ちのよいことだと思うので、今後意識して生活したい。



中野ランニングフェスタ

中野ランニングフェスタが良い天気の中、行われました。本校からは、男子チーム、女子チーム、先生チームの3チームが出場しました。一人約 1.8km を 5 人でつなぐ駅伝レース。苦しいながらも、皆完走し、終わったあとの笑顔は素敵でした。また、このフェスタの運営にボランティアとして活動してくれた生徒もいました。ありがとう！

